

令和6年度 島根県保健体育功労者紹介 (敬称略 校種別に50音順)

<p>あおやま たくみ 青山 巧 松江市立古江小学校</p>	<p>歴任校にて、児童生徒の体力・運動能力の向上、健康教育の推進に積極的に取り組んだ。浜田市立第三中学校では、100名近くの陸上部員の指導にあたり、島根県陸上競技協会より2年連続で優秀教員の表彰を受けた。また、平成25年以降、「幼児の運動遊び」の講師として県内の幼稚園で指導を行った。その後、県保健体育課指導主事兼社会教育主事として、学校体育の充実のために授業力向上への指導助言やトップアスリート派遣による児童への運動の意欲付けを行うなど、島根県の学校体育の推進・発展に寄与した。</p>
<p>ことう ただお 古藤 忠男 松江市立恵曇小学校</p>	<p>平成13年度には、大分市で開催された西部地区学校体育実技研修会に参加し、「ゲーム領域」の指導について県内の教員に伝達した。平成22年度には、県保健体育課指導主事として、県内各校へ体力向上に向けた指導助言を行った。さらに平成24、25年度には、県の体力向上モデル校として、全校体育「島根五輪」の取組と体育学習における効果的な教師のかかわり方について研究推進をしたり、平成28年度の中四国大会（松江）では、県小体連の理事長として、大会運営や研究推進を支えたりするなど、学校体育の発展に尽力した。</p>
<p>たけした とおる 竹下 透 出雲市立高浜小学校</p>	<p>歴任校において、体育主任や保健主事として、児童の体力・運動技能の向上、健康教育の推進に取り組んだ。大津小学校在籍時には、体育たよりを毎月発行して指導方法を提案したり、県内外から講師を招聘して研究を推進したりした。赴任した市では、小体連理事や事務局として各種大会や指導者研修会を企画運営し、学校体育の発展、教員の指導力向上に努めた。また、県小学連では、事務局幹事として全県の研究推進に関わるなど、平成19年度中四国大会（大田）の運営や、平成28年度（松江）に向けての準備等に尽力した。</p>
<p>て ぜん としお 手銭 俊夫 出雲市立高松小学校</p>	<p>歴任校において、児童の体力・運動能力の向上や健康教育の推進に積極的に取り組んだ。平成23年度より、隠岐教育事務所指導主事となり、体力向上を推進する研究指定校を訪問し指導するとともに、多くの学校訪問を行い指導にあたった。また、平成28年度に開催された、第54回中四国大会（松江）では、隠岐島前小体連の分科会提案発表の指導助言者を務めた。その後、仁多郡小体連副会長、出雲市小体連会長、県小体連副会長等を歴任し、出雲市小学校陸上大会の運営のスリム化を図り、持続可能な大会としての基盤を整えた。</p>
<p>まつもと しげる 松本 茂 出雲市立国富小学校</p>	<p>歴任校において、体育主任並びに保健主事として、児童・生徒の体力や技能の向上、保健学習の充実発展に積極的に取り組んだ。平成30年度から奥出雲町小体連で体つくりの領域で、縄跳びの研究を行い、「みんとび」という新たな取組を考案して町内全校で取り組む実践を発表した。さらに、幼保園の先生方と共同での縄跳び講習会を開催し、低学年からの技能向上に尽力した。平成30年度から奥出雲町小体連副会長や会長、平成31年より県学体研の評議員を務め、研修への参加を広く促すことで、多くの教員の研鑽を支えた。</p>
<p>そ た あきひろ 曾田 明浩 島根県立大田高等学校</p>	<p>体育の授業において、生涯にわたってスポーツにかかわっていくことの必要性を説き、そのための土台を作ることを常に意識した授業を心掛けた。特に、学校体育における剣道の授業について研究し、効果的な剣道の授業展開を県下に広めた。部活動においても、剣道部の顧問を務め、全国大会において上位入賞を果たした。平成18年度の研究大会では、運営と公開授業者として、研究大会を成功に導いた。さらに、中学校や高等学校の講演講師、全国中体連研究大会島根大会のパネリストを務めるなど学校教育に貢献した。</p>
<p>つ し み ともこ 都志見 朋子 島根県立江津高等学校</p>	<p>体育の授業では、生涯を通じて運動・スポーツを継続できる能力の育成に主眼を置き、運動やスポーツの楽しさを感じさせる授業展開の工夫をした。また、ハンドボール部の監督を務め、中国大会、全国大会に出場させるチームへと導いた。特にメンタルトレーニングの重要性を強調し、人間形成にも注力した。専門部委員長や島根県ハンドボール協会副理事長としても活動し、国民体育大会少年男女の強化事業の実施や県内外の交流事業、ハンドボールフェスティバルの開催を通じて競技力の向上に貢献した。</p>